

第 6 次地域福祉活動計画 骨子 (案)

第 1 章 はじめに

第 2 章 練馬区社協を取り巻く社会状況

- ・コロナ禍から見えた地域課題等
- ・重層的支援体制整備事業や再犯防止推進計画など地域福祉計画との連携

第 3 章 第 5 次地域福祉活動計画振り返り

- ・コロナ禍での活動計画推進の状況
- ・ネリーズ・キーパーソンは単体で役割や機能を果たすのではなく、重なり合い包含される
- ・ねりま社会福祉法人等ネットの取り組み

第 4 章 これからの練馬区の地域福祉推進

1. 第 6 次地域福祉活動計画の推進

重点的な取り組み：ネリーズ・社会福祉法人等のネット・地域福祉コーディネーターが協働した地域づくり

- ・ネリーズの気づきの輪を広げる
- ・ネリーズが活躍する地域づくり
- ・社会福祉法人等のネットを活用したしくみづくり

計画の柱 1 一人ひとりの生き方を認め支えあう (尊厳の確保)

取り組み項目 (1) その人らしい地域生活を支える

- ・成年後見制度利用促進
- ・ぴあサポーターの活躍

取り組み項目 (2) 複合的な課題への対応

80・50 問題、ひきこもり、再犯・触法 (社会復帰支援資金)、不登校、ヤングケアラー、外国人、DV、生活困窮等

- ・包括的相談支援 (生活支援 CO との連携)
- ・伴走支援
- ・アウトリーチ

取り組み項目 (3) 生活・就労の一体的な支援

社会参加の場が少ない、多様な働く場の必要性

- ・就労定着支援の充実
- ・トライアングルゼミの充実

計画の柱 2 つながり支えあう地域をつくる (地域づくり)

取り組み項目 (4) 災害に備えた地域づくり

- ・災害ボランティア講座・立ち上げ訓練・
- ・関係者連絡会の実施

取り組み項目 (5) 地域課題を共有できるネットワークづくり

- ・ねりま☆共生フォーラム、
- ネットワーク連絡会 (VC・ほっと・RW) の実施

取り組み項目（6）地域組織や地域の様々な団体との連携を推進する

- ・募金・寄付・助成事業等を通じた町会、どんぐりの家など団体との連携

取り組み項目（7）福祉人材の育成

- ・市民後見人の育成
- ・実習担当者連絡会の開催
- ・近隣学校との連携から若年者の力の発揮

計画の柱3 それぞれの居場所と活躍の機会をつくり支えあう（参加・活躍）

取り組み項目（8）誰もが参加できる地域活動の推進

- ・ボラセンゼミ、VCのコーディネーター業務の充実

取り組み項目（9）多様な働く機会の拡充

- ・作業所での就労体験受け入れ
- ・地域の民間企業への働きかけ

取り組み項目（10）当事者が活躍する福祉教育

- ・近隣学校とのつながりを活かした福祉教育の実施
- ・精神保健福祉講座等の実施

2. 第6次地域福祉活動計画の評価

第5章 資料

*団体インタビュー、策定・推進評価委員の皆様から一言（コラム）